

# 春、新しい生活を始める人に

春は進学、就職などで転居する人が多くなる時期です。引越したら、まず引越先にとんな危険があるかを確認しましょう。

都市部では、たぐさんの家が建っている街並みでも、人が安全に住むのに適していないところも多くあります。

普段は便利な都会でも、ひとたび電気、水道などのライフラインが止まれば脆弱で、生活に大きな支障が出る可能性があります。

災害から身を守るために、引越先自治体の公表している、土砂災害・洪水・地震・津波・火山災害などのハザードマップをもとに、新しく住むところの危険の有無を確認しましょう。

あわせて、それぞれの災害に対応した避難所の位置を確認し、実際に避難所に行ってみることで、途中の経路の危険についても理解しておきましょう。

危険が迫った時、日南町のように防災無線の戸別受信機が整備されているところは少なく、屋外のスピーカーで放送するところが多くあります。

確実に情報が得られるように、防災無線や防災アプリなど、自治体からの危険を知らせる情報を受け取る手段も確認しておきましょう。

離れて暮らす家族と安否の確認ができるように災害伝言ダイヤルの使用方法も確認しておきましょう。

新しく住むところの危険を理解したうえで、安全に新しい生活を始めましょう。

問い合わせ先  
総務課 82-1111

## 林業アカデミー奮闘記

### 2期生が卒業

いよいよ林業アカデミー2期生が卒業します。町内に留まる学生は4名で、残りの3名は県内外で林業をします。本年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、授業のカリキュラムの変更が相次ぎ大変な1年でしたが、林業アカデミーを支える皆様のおかげで充実した研修をすることができました。日南町の林業アカデミーで学んだ1年を忘れずに、長く林業を続けて地域や日本の林業のために働いて貢献して欲しいと思います。新たな実習棟の完成など施設の充実やプログラムの改善など、今後も研修内容のさらなる充実を図っていきます。お陰様で3期生は13人の入学が決まりました。例年よりも高校新卒者が多く、今までと違った授業も取り入れながら、人材育成に取り組めます。



【林業アカデミーHPアドレス】  
<https://nichinan-ipc.or.jp/forestry/>

問 になん中国山地林業アカデミー  
TEL 84-0070

### 獣害対策 最前線

## シカって どんな動物？

日野郡鳥獣被害対策協議会  
実施隊チーフ 木下卓也  
【問い合わせ】72-1399

これまでイノシシなどの野生動物について書いてきましたが、意外と書いていないのがニホンジカです。今回はシカってどんな動物？と素朴な質問をいただいたので、ざっくり紹介したいと思います。

ニホンジカと名前に「ニホン」が入っていますが、日本の固有種ではなく、ロシアや中国など東アジアに広く分布しています。日本では全国に分布し、7種の地域亜種(エゾジカ、ツシマジカなど)がいます。一般的にニホンジカというと本州に住むホンシュウジカを指します。今回はニホンジカを略して「シカ」と呼ぶことにします。

オスジカは頭に角があり、この角は1歳ごろから生えはじめ、毎年生え変わります。はじめは下の写真のように丸みを帯びた柔らかい袋状の角が伸びていき、次第に固くなり、皆様ご存じのシカの角が出来上がります。春ごろには角の根元からポロリと落下するので、

春先の山を歩くと落ちた角を見つけられるかもしれません。

ちなみにこの角の先端の分岐の数で年齢を推定できます。分岐のない1本角なら1歳、分岐が1つなら2歳、と1年ごとに分岐が増えます。ただ分岐が3つ以上になるとはないので、4年目からは4歳以上としか判断できなくなります。ところで大人か子どもの見分けに「鹿の子模様(体の白い斑点)」で判断すれば？と思われるかもしれませんが、あの模様は夏毛か冬毛の違いなので、子どもでも大人でも夏にはあの白い模様が浮かんでいりますので、残念ながら判断材料にはなりません。今回は「ニホンジカの生態編」です。

